

小学校低学年の部

であえてほんとうによかった

大昔、嫌われ者のティラノサウルスが、スピノサウルスの子どもをパクリと食べようとしたとき、大きな地震が起こりました。気が付くと、2人きりになっていて・・・。

むしたちのかくれんぼ

チョウやトンボ、バッタ、カブトムシ。いろんな虫が集まってかくれんぼをすることになりました。おにになったのは、ミイデラゴミムシ。さて、みんなはどこに隠れているのでしょうか？

おこる

毎日怒られてばかりのぼく。なんでぼくは怒られるんだろう？なんで人は怒られるんだろう？怒ったからって、気持ちが悪くするわけじゃないのに。

ピンコウさぎのふしぎなくすり

つとむくんが描いたうさぎのピンコは、画用紙から飛び出して動き回ることができます。ある日、学校から早退してきたつとむくんが寝込んでしまいました。

もっとおおきなたいほうを

川で魚をとっているキツネを追い払うため、王様は大砲を打ち上げました。するとキツネは、もっと大きな大砲を持ってくるではありませんか。王様とキツネの大砲くらべはどんなエスカレート。

小学校中学年の部

少年の木 希望のものがたり

戦争で廃墟となり、鉄条網に囲まれてしまった遊び場。そこに芽生えたちいさな緑の芽を1人の少年が育て始めると、やがて緑が広がって…。危機に満ちた今の時代に生きる人々に贈る、人間の希望の物語。

ヒロシマのいのちの水

1945年8月6日、広島のと児所子どもたちの世話をしていた宇根利枝さん。あの日、生き残った者として、宇根さんには果たしたい約束がありました。原爆慰霊碑に50年以上も献水を続けているおばあちゃんのお話。

ぼくのネコにはウサギのしっぽ

できのいいお姉ちゃんと、普通のぼく。ことの始まりは、お姉ちゃんが拾ってきたネコだった。おどおどしているネコと「ぼく」の出会いを描いた表題作など、身近な動物との心温まる3つの話を収録。

うそつきにかんぱい！

おかしいことを言うようになった信也の大ばあちゃん。大ばあちゃんに話をあわせることができず、困った信也は、植木屋の「ほらふきおじさん」のところへ行きました。おじさんは信也に「やさしいうそ」の話をしてくれて。

ハリセンボンがふくらんだ

ふくらむときは、いっきに海水を「ぐいっ」とのみこんで。名前は知っているけれど、ハリセンボンって、ほんとはどんな魚かな？ハリセンボンのふしぎがつまった、新しい科学の絵本。



小学校高学年の部

かりんちゃんと十五人のおひなさま

かりんの家にやってきたひいおばあちゃんのおひなさま。ひな人形たちは、守り子のかりんにだけ自分たちの本当の姿を見せてくれますが…。小さなおひなさまたちが活躍する楽しいファンタジー。



マグロをそだてる

直径1ミリほどの小さな卵から、全長3メートル・体重400キロにまで成長するクロマグロ。その完全養殖に世界で初めて成功するまでの32年間の研究プロセスを、イラストや写真で紹介しします。

チャンプ 風になって走れ！

ライリーは、スポーツが苦手な父親の期待にこたえられずストレスだらけの毎日を送っていた。ある日、交通事故で片方の前脚を失った、シヨードッグのチャンピオン犬「チャンプ」をひきとり、そんな毎日に変化が訪れた！

コウタロウとぼく

もしも、友だちに見えない何かが、自分にだけ見えたら？小学5年生の男の子・哲平は、ある日、いつも空席のはずの隣の席に小さな男の子が座っているのに気がついた。しかし、クラスメイトたちはその子のことが見えません…。

どうしてぼくをいじめるの？

いじめっ子に「鼻をほじっていた」という噂を流され、みんなにからかわれるようになったマーヴィン。先生からの通知表にも、「ティッシュを使うように」と書かれたマーヴィンが、悩みを家族に打ち明けると…。

中学校の部

犬と私の10の約束

みもの家に、初めて子犬がやってきました。名前はパニウ。ずっとずっと、いっしょに仲良く暮らしたいから…。お母さんはみものに「犬と私の10の約束」をおしえてくれました。パニウとみもの、友情と成長の物語。

言葉はライブだ！

「コミュニケーションの危機」が叫ばれている現代、説得力のある「言葉」が必要とされています。NHKアナウンサー、キャスターとして、著者が仕事の中から体得してきた「言葉とコミュニケーション」のコツを紹介しします。

北島康介 夢、はじまる

4度にわたる世界新記録の樹立。アテネオリンピックで2つの金メダル。そして、北京オリンピックで2種目2連覇の偉業への挑戦。5歳で水泳と出会ってから今日までをたどり、その強さの秘密を探り出す。

龍馬の夢 幕末動乱の間をひらく

幕末・維新の時代を代表するヒーローとして、いまも日本人の心に生き続ける坂本竜馬という人間の魅力と、幕末の暗黒を切りひらく原動力となった彼の「夢」にせまる。

晴れた朝それとも雨の夜

あの時、なんで追いかけてたりしたんだろう？あやまらなきやうって、ずっと思ってた。今なら、素直にいえそうなの、そんな気がしたから…。3人の少女のかけがえない季節をつづるアンソロジー。

